

大阪府高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業

支援拠点機関 障がい者医療・リハビリテーションセンター

医療部門：地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター

<令和2年度> 高次脳機能障がい外来OT認知訓練 支援実施状況

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センターでは、平成20年5月より大阪府の高次脳機能障がい支援拠点機関：障がい者医療・リハビリテーションセンター・医療部門として高次脳機能障がい外来OT認知訓練を実施している。令和2年度の支援状況について、以下に報告する。

1.対象者

高次脳機能障がいの支援について、障がい者医療・リハビリテーションセンターに相談をされた方の中で、受傷・発症から概ね6ヶ月以内であり、大阪急性期・総合医療センターのリハビリ科の医師の診察によって、外来OT認知訓練の処方が出された方。

2.目的・内容

高次脳機能障がいに対して認知機能の改善・代償手段の獲得・障がいの認識を高めることを目的に週1～2回・1回40分～60分・3カ月間（週2回×12週＝24回）実施する。

外来高次脳訓練にはOTの他、当院の高次脳機能障がい支援コーディネーターとも連携し、毎月1回カンファレンスを行うことで、支援の連携を図っている。

令和2年4月1日～令和3年3月31日までの訓練対象者は、男性13名・女性3名の計16名、平均年齢は、36.8歳だった。

表1～表3に対象者の詳細を示す。

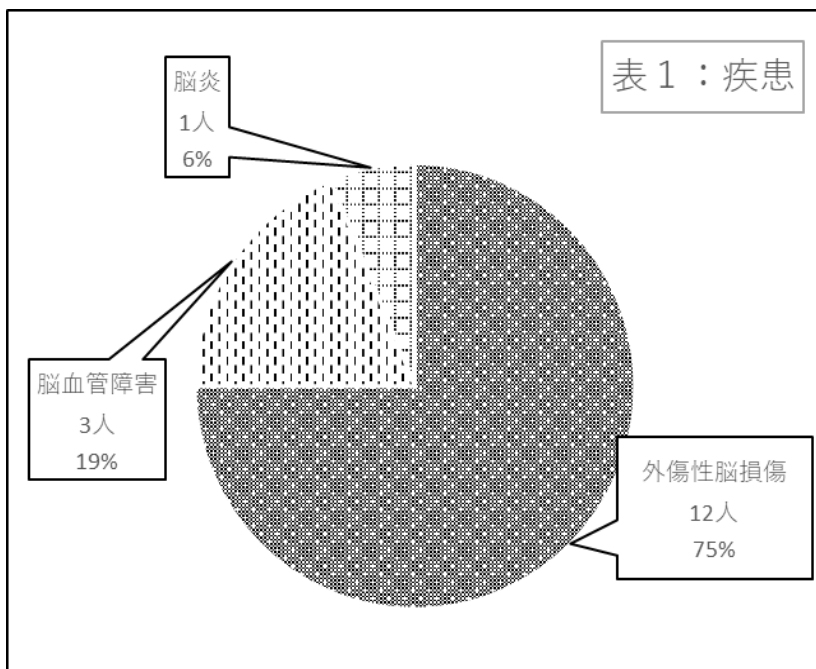
3.支援の連携

訓練実施中により、高次脳機能障がい支援コーディネーターとカンファレンスを実施し、訓練経過の報告・今後の方針、訓練終了後の具体的な支援調整を行っている。

訓練終了者16名の終了後の進路については、表4に示す。

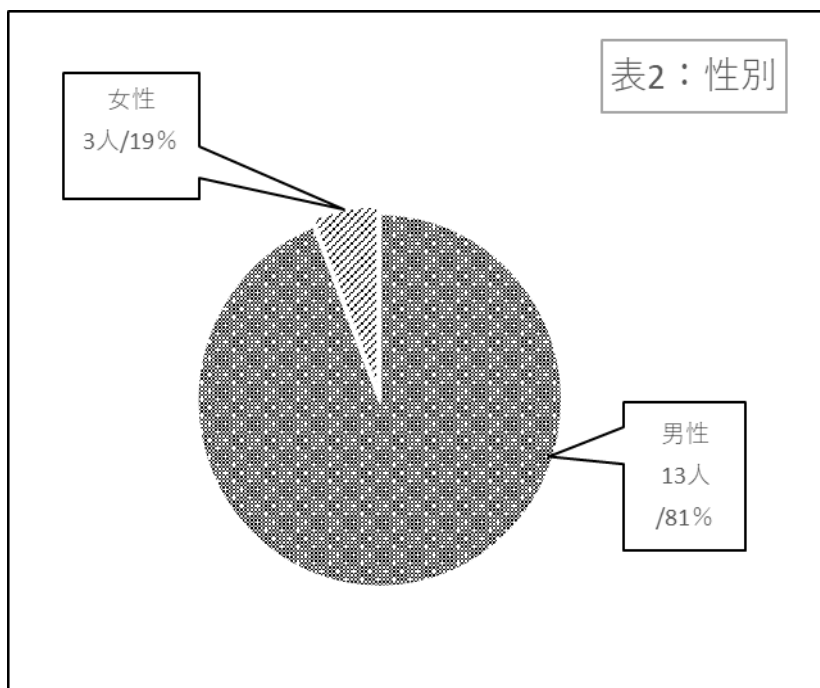
< 高次脳機能障がい外来OT認知訓練支援実施状況 >

参考資料4-2



<表1：疾患>

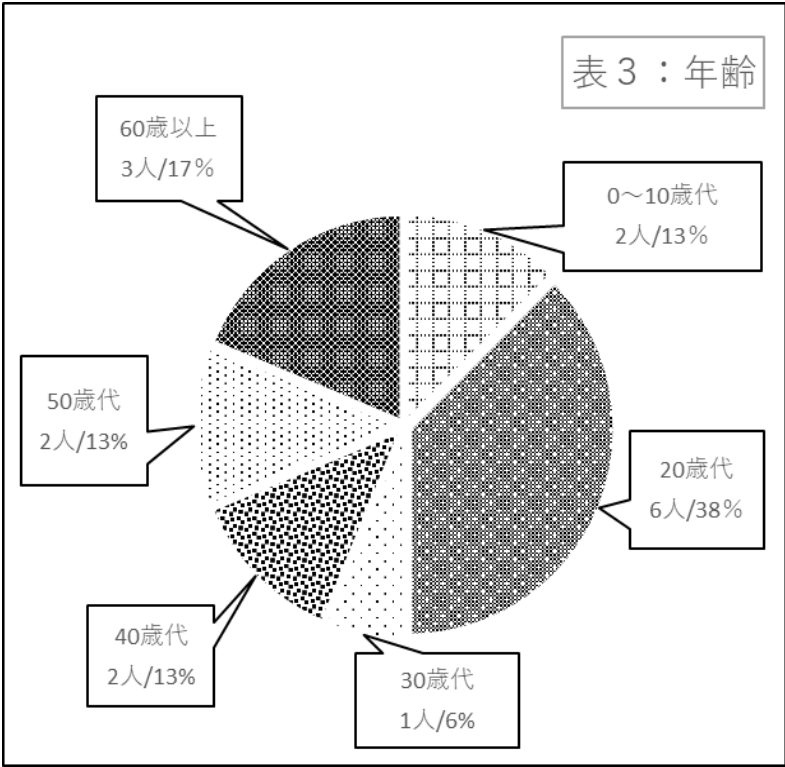
疾患	人数	%
外傷性脳損傷	12	75%
脳血管障害	3	19%
脳炎	1	6%
低酸素脳症	0	0
脳腫瘍	0	0
その他	0	0
合計	16	100%



<表2：性別>

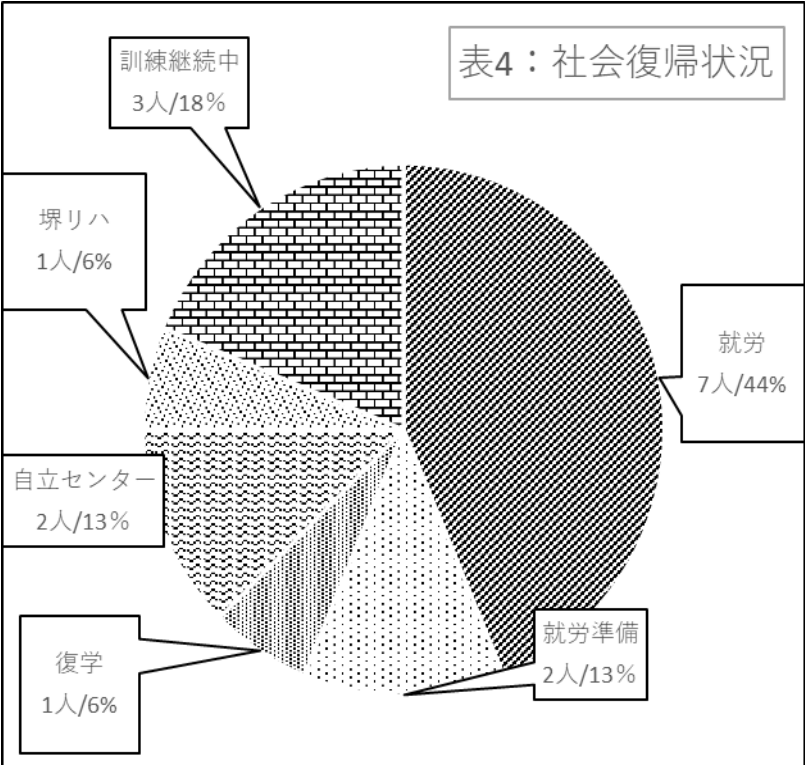
性別	人数	%
男性	13	81%
女性	3	19%
合計	16	100%

<資料4-2>



<表3：年齢>

年齢	人数	%
0～10歳代	2	13%
20歳代	6	38%
30歳代	1	6%
40歳代	2	13%
50歳代	2	13%
60歳以上	3	17%
合計	16	100%



<表4：社会復帰状況>

社会復帰状況	人数	%
就労	7	44%
就労準備	2	13%
復学	1	6%
復学準備	0	0%
自立センター	2	13%
堺リハ	1	6%
訓練継続中	3	18%
その他	0	0%
合計	16	100%